

# 日本新聞協会主催「HAPPY NEWS2014」大学生大賞受賞！

本学が日本新聞協会主催「HAPPY NEWS2014」において大学生大賞を受賞しました。受賞について4月6日（月）付の山陽新聞に掲載されましたので紹介します。この賞の授賞式が本学であり、応募した学生や関係教員が式に出席しました。



表彰状を受けとる山口恒夫前学長



受賞を喜ぶ学生・関係教員

**新聞協会「HAPPY NEWS」**  
**古垣さん（鹿児島）大賞**  
 大学生大賞に川崎医療短大

日本新聞協会は4月6日の「新聞をヨム日」にあわせ、「HAPPY NEWS 2014」の結果を発表した。HAPPY NEWS大賞は、高校生の就職をめぐる心温まる記事にコメントを寄せた、鹿児島県

の古垣ひとみさん(41)に授与した。記事は、高校生がアルバイト先で整頓されている作業車をみて「こんな会社で働きたい」と問い合わせたところ、社長の心を動かし採用されたという内容。コメントで、素直に感じた気持ちを表現した点が評価された。

今回は、家族での取り組みや若い人からの応募が増え、前回の2倍以上となる4975件(うち大学生1103件)の応募があった。審査の結果、大賞1件、HAPPY NEWS賞2014を10件、家族賞4件などを決めた。

新聞を通して読者に優しい気持ちや感動を届けてくれた人に贈る「HAPPY NEWS PERSON」は、30年同じ場所で見守り、年賀状を作っている栃木県日光市の池田正光さん一家と、最年長41歳でプロ将棋棋士4段になった、福山市の今泉健司さん。PERSON特別賞は、プロテニスプレーヤーの錦織圭さんに贈られた。

対象にした大学生大賞(グループ、1件)は、川崎医療短大(倉敷市)が受賞。親子での取り組みを学校単位で呼び掛けた「学校賞」(4件)には、朝日塾中等教育学校(岡山市)が2年連続で選ばれた。

受賞作品は、新聞協会のウェブサイト「よんごう」(<http://www.yondoku.com>)で見ることが出来る。